

【復興庁計上分】

森林内における放射性物質実態把握調査事業（継続） 【平成27年度概算決定額（復旧・復興対策）30,000(30,000)千円】

事業のポイント

森林内の放射性物質の分布状況を把握するための調査・解析を実施します。

<背景／課題>

- ・福島第1原子力発電所周辺地域の大半は森林であり、その豊かな資源を活用した林業・木材産業が地域の基幹産業となっていますが、既に、避難指示区域の指定による事業活動の制限、生産物の出荷制限や風評被害等深刻な影響がみられています。放射性物質による影響は、長期間にわたることから、今後の森林・林業施策の対応に必要な知見を継続的に収集し、復興に向けた的確な対策を講じていく必要があります。

政策目標

継続的な調査を実施し、復興に向けた森林・林業施策を的確に推進

<内容>

森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの分布状況等の調査・解析を実施します。

<委託先>

民間団体等

<事業実施期間>

平成24年度～28年度（5年間）

[担当課：林野庁研究指導課]